

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	技術	学年	3	担当者	根本 二郎
----	----	----	---	-----	-------

◇技術家庭 (技術分野) の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

◇1年間の学習計画

月	学習内容	月	学習内容	月	学習内容
6	<b>D 情報に関する技術について</b> 1 情報とわたしたちの生活	9	5 コンピュータと情報処理	1	7 プログラムによる計測・制御 ・生活の中にある計測・制御
		7	2 情報通信ネットワークの利用 3 ネットワークと情報セキュリティ	10	6 ポスターの設計と製作 ・「生活モラル」を考えるポスターづくり
8	4 情報モラルと知的財産			11 12	

◇評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法	%
生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術について関心をもち、生活をよりよくするために進んで実践しようとする。	授業態度、持ち物の準備、ノート記入状況、実習達成状況	25
生活を工夫し創造する能力	社会や環境を見直し、課題を見付けるとともに、その解決を目指して、自分なりに工夫し創造している。	ノートまとめ、レポート考察、作品の工夫、観察記録、テスト	25
生活の技能	生活に必要な基本的な技術を身に付けている。	実習進度、作品完成度、実習達成度、技能テスト	25
生活や技術についての知識・理解	生活や産業の中での技術の役割について理解し、生活や技術に関する基礎的な知識を身に付けている。	テスト、作品完成度、実習達成状況	25

◇学習のアドバイス

生活や社会と情報に関する技術との関係について、情報技術の発展が生活を豊かにし、産業を発展させてきたことを理解し、通信ネットワークや環境の問題やエネルギーの問題などを考える。技術の授業では、以上のような知識と実習することを通して技術の習得と思考力を身につけます。家庭でも色々な技術や情報化社会の問題などを話題にする。また、情報収集とその活用を慎重に行うことで技術科の学力が高まると思います。